

例会「真壁ひな祭りウオーク」報告

開催日：2023年2月8日(水) 集合場所：桜川市真壁体育館(真壁城址)
集合時間：9時00分～9時30分 開会式：9時30分～9時45分 終了後スタート
コース・距離：真壁城址→五所駒瀧神社→加波山神社真壁拝殿・本宮→りんりんロード→真壁の街並み(谷口家→橋本旅館→川島書店→旧真壁郵便局→潮田家→真壁伝承館(昼食)→西岡本店→猪瀬家薬医門→旧真壁駅)→真壁城址 13km
ゴール時間：真壁城址 14時10分
参加者：20名(会員17名) 天候：晴れ

ウオーキング状況等

「美しい日本の歩きたくなる道」500選は、国土交通省などの協力を得て日本ウオーキング協会が日本全国から選りすぐった“次世代に残したい道みち”で、そのひとつに「蔵と石のまち真壁の街並みを巡るみち」があります。真壁は江戸時代から文化・産業の中心として栄え、市街地には多くの見世蔵・土蔵・門などがあり、平成22年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました(県内初)。今回の例会は、お雛様が160軒に飾られる「真壁のひな祭り」を鑑賞しつつ、500選コースの登録文化財を巡り歩くものです。

真壁城址から筑波山麓に向かう緩やかな登り道を歩き始めると、20分程で真壁氏の氏神、五所駒瀧神社に着いた。荘厳な雰囲気にも包まれた神社だが、座敷にはお雛様が飾られているので気持ちも和らぐ。更に少し登ると真壁市内が見渡せる里山の頂きへ、その後は下り坂が続く。加波山登山口にある神社を目指して、筑波連山北部の山裾を歩く。秋にはひたちそばの畑が続く場所だ。真壁拝殿と本宮がある加波山神社の由緒は分かりにくいのが、等しく参拝し一般道を経てりんりんロードに出た。しばらく歩くと真壁の街並みが見えてきたので、少し歩き疲れ気味の皆さん足取り軽くなる。

最初の登録文化財は醤油、製糸の谷口家。「昔は女工さんが大勢いて賑やかだった。最近はおけ地として時折利用されている」と下見時に聞いた。その話を参加者の皆様に話しながら進んだ。登録建造物が街中至るところにあり、店舗前には真壁石(御影石)で作られた登録内容を記した碑が立ち、中を覗くとおもてなしのお雛様が並んでいる。期待した呉服・雑貨商の潮田家は閉まっていた。ようやく伝承館に着き昼食。その後、日本酒蔵元西岡本店に向かう。ここは会員の娘さんが嫁いだところ。お雛様も飾られている工場を見学させて頂き、甘酒で元気をもらって再出発。ゴール直前の旧真壁駅はSTTWりんりんロードコース(岩瀬～筑波)の中間点。ここから更にSTTウオークする参加者はいなかったため、皆さん全員一緒にゴール。お疲れ様でした。

潮田家のひな壇を見ることを楽しみに一つにしてきたが、一人でお店を守ってきた高齢女性の店主が健康上の理由で休業中らしい。そのような後継者がいなくて閉まったままの店が少なからずあるのは残念。人的な面でも文化財を維持できる仕組みが必要のようだ。つい最近NHKの「小さな旅」で紹介された西岡本店の雛飾りは素晴らしく皆さん感動していました。会員を通じた繋がりのおかげで充実した例会になったこと、関係者の皆様にこの場を借りてお礼を申し上げます。

(戸田)